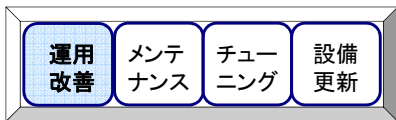


給排気ファンの間欠運転



- 地下駐車場の給排気ファンを稼動状況※(出入庫台数)に合わせて間欠運転することで節電になります。
(※出入庫台数≠駐(停)車台数 ⇒ 排ガス量に合わせる)

試算例

給排気ファンを間欠運転をすると...
(規模2,000m²相当の駐車場の事例)

- 節電効果 : **節電効果 135万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 40kW
節電電力量 約 85,000kWh
36,700kWh(夏期), 48,300kWh(冬期)

- 対策内容 : 平日1時間のうち20分運転, 40分停止

- 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力(設備分) × 削減率
 節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

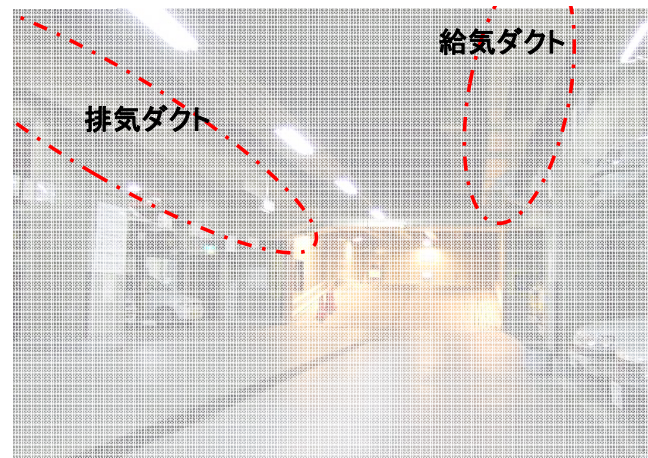
(試算条件)

消費電力(設備分) : 60kW(ファン風量: 40,000m³ × 4台[給気 × 2, 排気 × 2])
 ⇒ 駐車場高さ: 4m, 換気回数: 10回と仮定
 削減率: 66.6%(仮定: 20分運転/40分停止)
 対象時間: 10時間/日(6:00~10:00, 17:00~23:00)
 対象日数: 夏期92日/年(7~9月), 冬期121日/年(12月~3月)
 稼働率: 100%(仮定: 連続運転)

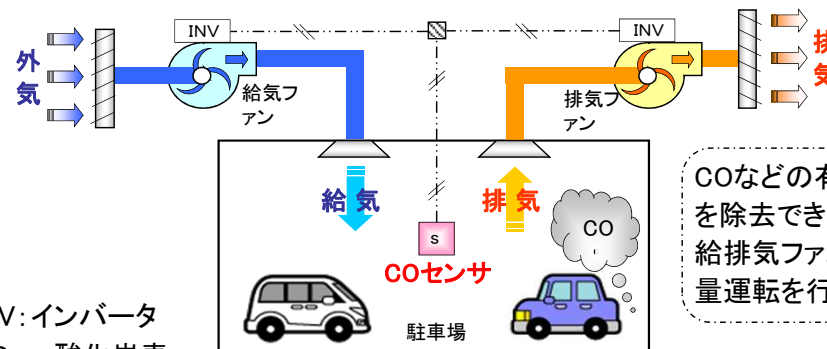
ポイント

- 換気回数は、駐車台数ではなく入れ替え台数により定まるので、運用に合わせた間欠スケジュール設定をお願いします。
- 駐車場法などの法令を超えた過剰な取組みとならないよう注意してください。
- 稼動状況の把握が難しい場合は、COセンサを設置した自動制御運転をおすすめします。

参考



地下駐車場換気設備(例)



COなどの有害物質を除去できるように、給排気ファンの変風量運転を行う

※INV: インバータ
CO: 一酸化炭素

【参考】CO濃度管理によるファンインバータ制御イメージ
(自動制御運転)

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます